



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第363号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア パラスポーツ「ペガーボール」

根戸小学校の5年生総合的な学習の時間で、Abi-キャリアの授業が行われました。ペガーボールは、レクリエーション的要素が強く、誰でも気軽にできるスポーツです。

まずは、我孫子特別支援学校の先生やペガーボール協会の方から基本の動きを教わりました。ボールに慣れるためキャッチボールを始めると、緊張気味だった児童にも笑顔が見られました。次にチームに分かれ、ルールの確認と動きの練習をしました。コーンで陣地を作り、ビブスを着た「鬼役」にボールをくっつけました。

最後に試合をしました。9m×18mのコートを作り、その中で、ビブスを着用して逃げる相手の「鬼役」にボールを投げ、ビブスにボールをくっつけます。試合時間終了後、ビブスについてボールの数を数え勝敗を決めます。試合中は、鬼を追いかけてボールを投げる子もいれば、鬼を待ち伏せて投げるなど工夫する子もいました。「鬼さん、待て!」と、息を切らして動き回り、楽しむことができました。

分かりやすいルールのなかで思い切り動き、運動量を高めるとともに、学年によってコートの変えたり、時間、鬼役の人数など子どもたちに考えさせて工夫を重ねることで、楽しさが増していく可能性を感じる授業でした。



Abi-ふるさと「火事から暮らしを守る」

我孫子第三小学校の3年生社会科「火事から暮らしを守る」の単元で、学校の消防設備に焦点を当て、命を守る行動について考える力を育成することを目的とした授業が展開されました。

我孫子第三小学校では、学校運営協議会委員の方が普段から授業を参観し、授業への理解を深めると同時に、共に学んでいく機会をもっています。この日も3人の方が参観し、授業終了後には校長先生を交えた振り返りを行い、授業や子ども達の様子について話をしました。

今日は、これまでに校内の消防設備を調査し、まとめた図を資料として「学校の消防設備がなぜそこにあるのか」を考えます。防火シャッターや非常口など、校内にある消防設備を8グループで分担し、学習課題の解決を目指しました。グループで話し合ったことを全体で共有すると、「学校の設備はみんなが早く安全に逃げたり、行動したりできるように工夫されている」というキーワードを導き出しました。

授業の振り返りでは、本時で学んだことを標語にしました。「安全に早く逃げよう 校庭に」などの標語ができました。標語にすることで、児童が学んだことや重要だと思ったことが明確に示され、それを再度共有することで学びが深まり、ねらいが達成されたと感じました。意欲をもって授業に臨む姿に、授業実践の積み重ねが感じられる授業でした。

